

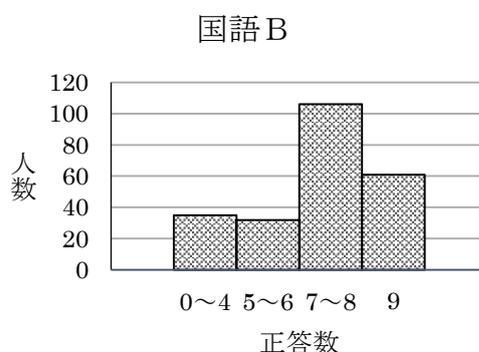
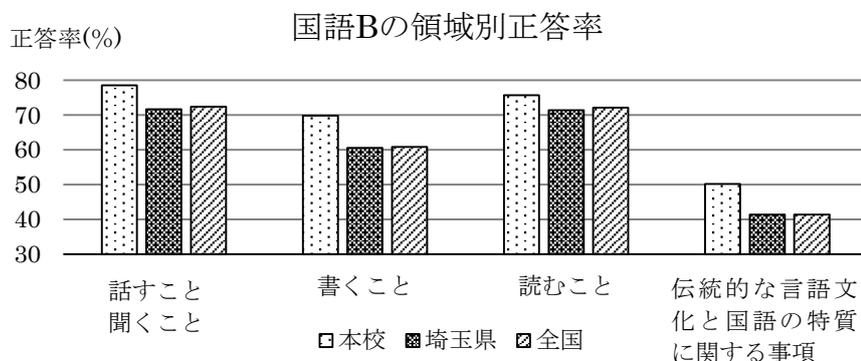
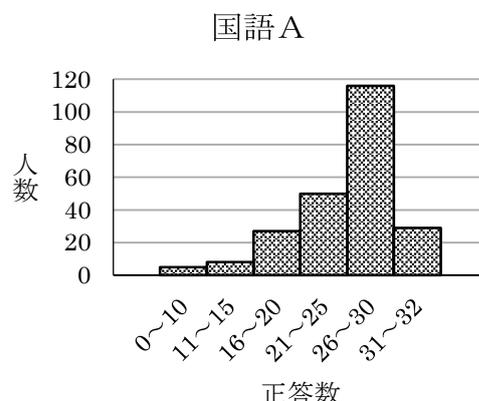
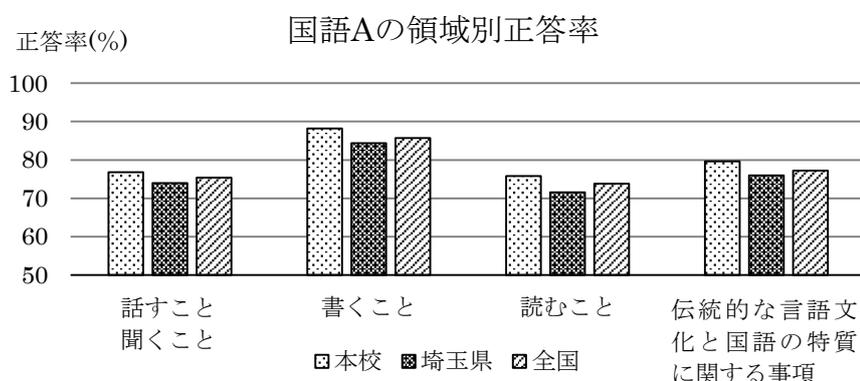
この学力調査は、平成29年度の中学校3年生を対象に実施したものです。したがって、学校全体の傾向を示すものではありません。

また、本分析・考察は全国（公立）及び県（公立）平均との比較をベースにしたものであり、一定の基準をもとにした優劣や、昨年度と比べた経年変化を表すものではありません。

グラフは、成果や課題を示す領域を掲載しました。

学力調査の結果と考察

国語は「言語についての知識・理解・技能」に課題



国語Aで正答率が全国平均を5ポイント以上上回った問題

設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	87.2	81.4
文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ	77.9	72.9
<立候補者から>の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成を工夫してわかりやすく書く	86.8	79.8
先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す	相手に分かりやすいように語句を選択して話す	60.4	54.0
適切な語句を選択する（ <u>えり</u> を正して話を聞く）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	85.1	76.9
適切な語句を選択する（良い結果を早く出したいときは、急がば回れと言われるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	70.2	61.4
行書で書かれた「和」の特徴の組み合わせとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する	68.9	63.7
「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	古典には様々な種類の作品があることを知る	93.2	78.5

国語Aで正答率が60%以下の問題

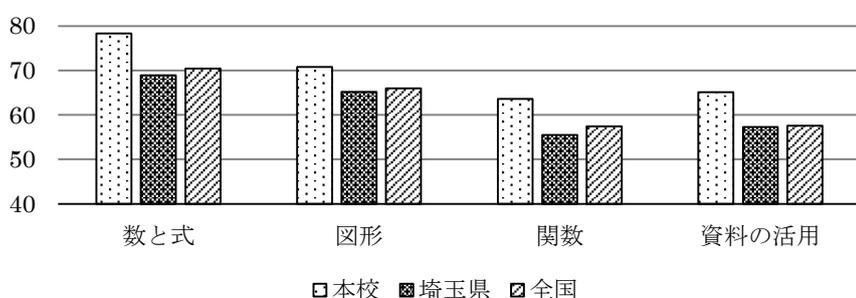
設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
漢字を書く（雨で運動会がエンキになる）	文脈に即して漢字を正しく書く	53.6	62.3
話し合いの記録として適切な言葉を考える	事象や行為などを表す多様な語句について理解する	37.9	35.8
楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する	楷書と行書の違いを理解する	38.7	49.6

今後の学習指導に当たって

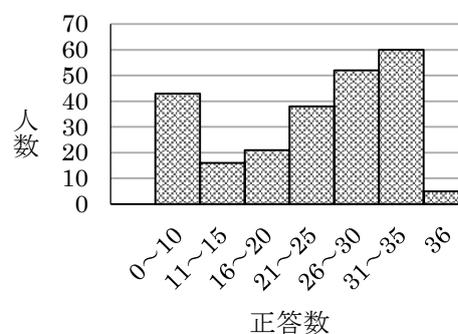
事象や行為などを表す多様な語句を、生活の中の様々な場面や状況に応じて、適切に使うことができるようにする必要があります。授業では、話し合いなどの具体的な場面を取り上げ、その場の状況に応じた適切な言葉について考えたり、調べたりする学習活動を多く取り入れます。その際、漢語などを用いて短い言葉で表す方がよいのか、文や文章を用いて丁寧を表す方がよいのかなど、目的や場面を踏まえて考えさせていきます。

数学は「図形」「関数」「資料の活用」の基本的な用語理解に課題

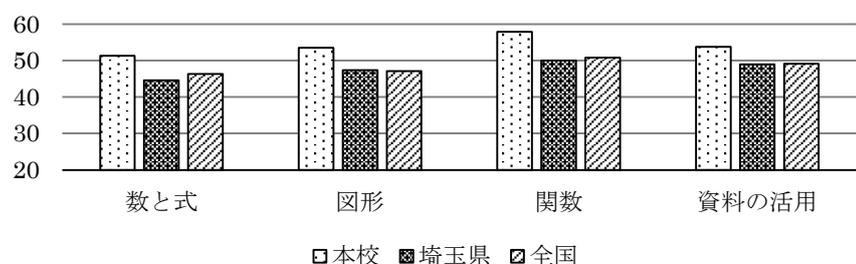
正答率(%) 数学Aの領域別正答率



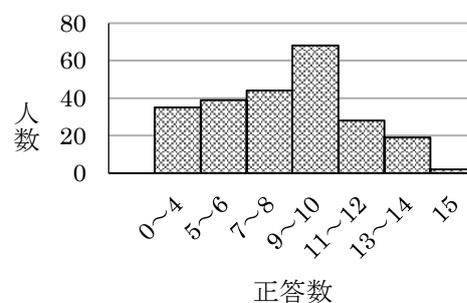
数学A



正答率(%) 数学Bの領域別正答率



数学B



数学Aで正答率が全国平均を10ポイント以上上回った問題

設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
$10 - 6 \div (-2)$ を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算できる	86.0	75.6
数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる	67.7	52.8
角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	角の二等分線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している	78.3	67.4
円柱の体積を求める	円柱の体積を求めることができる	62.6	51.8
証明で求められている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	89.8	78.6
与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	作図の手順を読み、根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している	62.1	49.1
比例のグラフから式を求める	与えられた比例のグラフから、 y と x の関係を $y=ax$ の式で表すことができる	68.1	57.1
二元一次方程式が表すグラフを選ぶ	二元一次方程式を関数を表す式とみて、そのグラフの傾きと切片の意味を理解している	74.9	63.0
度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	与えられた度数分布用について、ある階級の相対度数を求めることができる	57.0	45.6

数学で正答率が 50%以下の問題

設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
半径が 5 cm、中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める	扇形の弧の長さを求めることができる	30.2	30.7
錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	錯角の意味を理解している	35.3	43.1
長方形の縦の長さや面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	19.1	20.6
反比例の表から比例定数を求める	与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している	43.0	34.4
反復横とびの記録の範囲を求める	範囲の意味を理解している	33.2	28.6

今後の学習指導に当たって

扇形を円の一部として捉え、弧の長さや面積がその中心角の大きさに比例することを確認する場面を設定し、扇形の弧の長さや面積を求めることができるように指導します。

2直線に1直線が交わってできる角で、互いに同位角や錯角の位置にある角を見いだす活動を取り入れ、それらの角の位置関係について理解できるように指導します。

事象の中にある2つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見いだす活動を通して、関数の意味を理解できるように指導します。

資料の活用では、新しく出てくる様々な用語について意味を理解できるように指導します。

学習状況調査の結果と考察

全国学力学習状況調査では、学力調査に併せて、アンケート調査を実施しています。その結果について考察します。

<基本的な生活習慣>

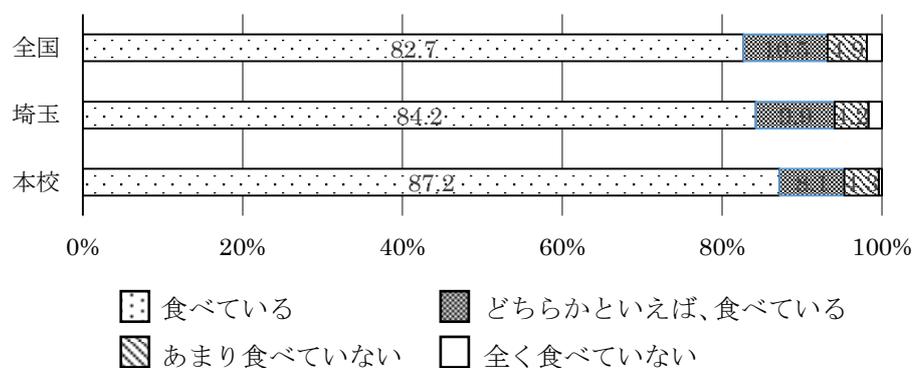
3年生は、93%以上が「食べている」「どちらかといえば、食べている」を選んでいます。また、「全く食べていない」生徒は1人だけでした。

今後も、朝食を毎日摂取できますようご協力をお願いします。

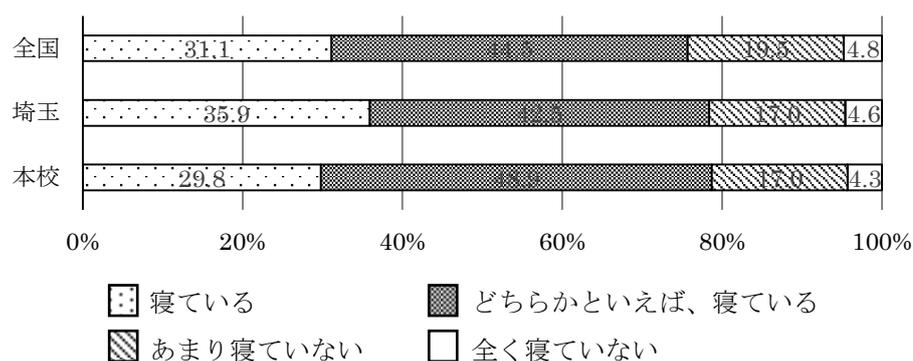
就寝時刻については、約8割の3年生が、ほぼ毎日同じくらいの時刻に寝ていることがわかります。

学力調査との関係は、すべての教科において、「寝ている」と「どちらかといえば寝ている」を合わ

朝食を毎日食べていますか



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



せた平均正答率が、「あまり寝ていない」と「全く寝ていない」を合わせた結果を上回っています。

起床時刻についても同様です。「起きている」と「どちらかといえば起きている」を合わせると90%以上になります。

本校には、遅刻する生徒がほとんどいないのも、この調査結果から納得できます。

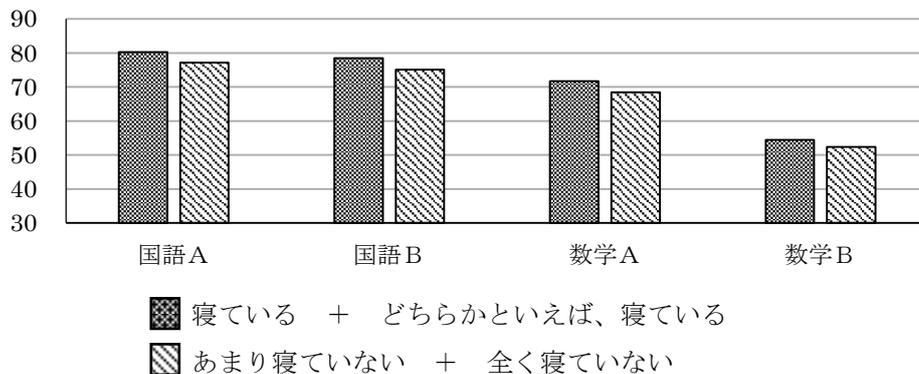
学力調査との関係も、毎朝同じくらいの時刻に起きることのできる生徒の方が平均正答率が高くなりましたが、就寝時刻よりも、その差は大きくなっています。

これからも、子どもたちの基本的生活習慣の確立にご協力をお願いします。

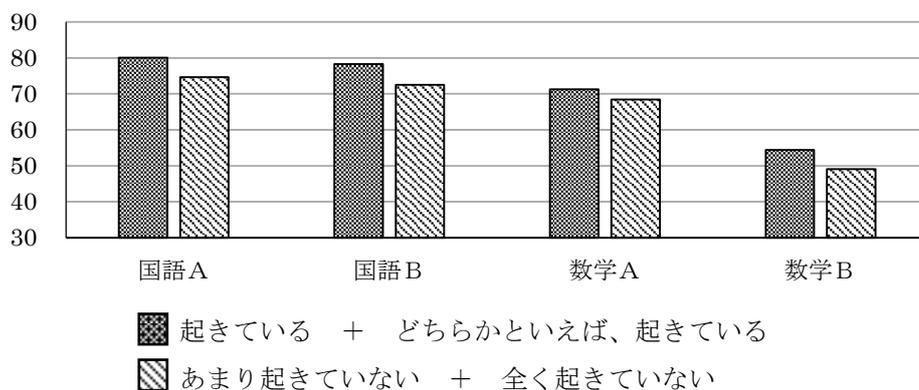
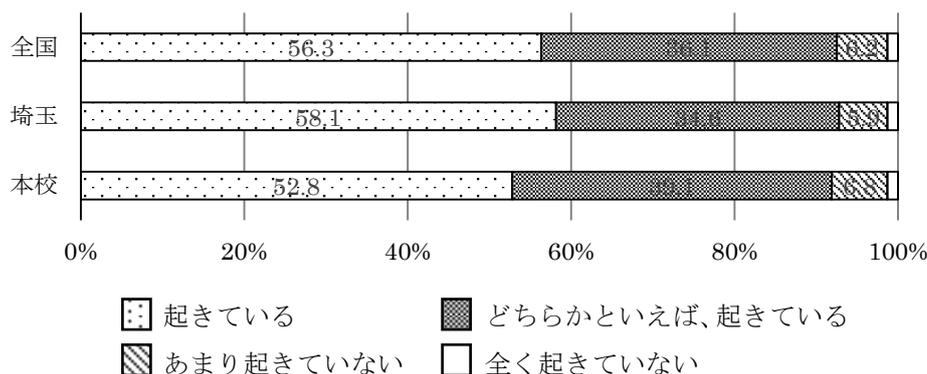
<自尊感情>

95%もの3年生が、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えています。この2つの合計ポイントは、全国、県を若干下回っています。

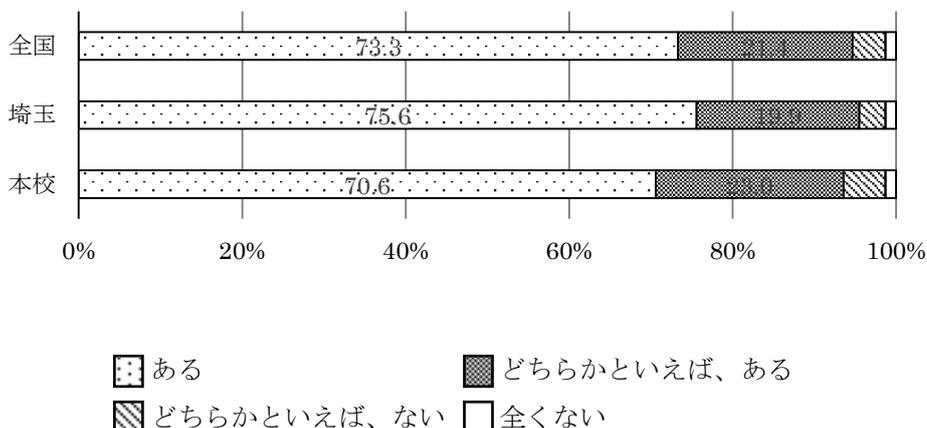
学力調査との関係を見ても、すべての教科において、このような経験がある生徒の方が正答



毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか



率が高くなっており、国語B、数学Aでは10ポイント以上の差がありました。

今後も、最後まで取り組ませる指導を行います。

挑戦意欲については、ほぼ全国平均と同じ結果になりました。

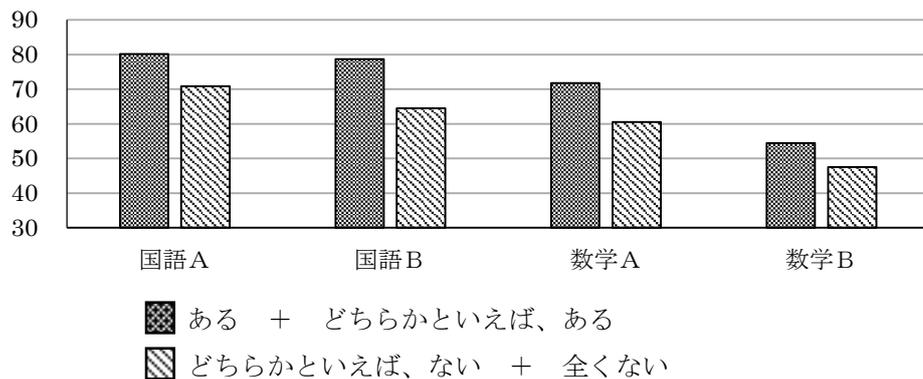
これも、「している」、「どちらかといえばしている」を選んだ生徒の方が、学力調査の平均点が高くなっています。

本校では、本年度の学校研究のテーマを「考え、議論する授業の研究」とし、主体的、対話的で深い学びの授業実践に取り組んでいます。授業においても、難しい問題にも積極的に挑戦させたいと思います。

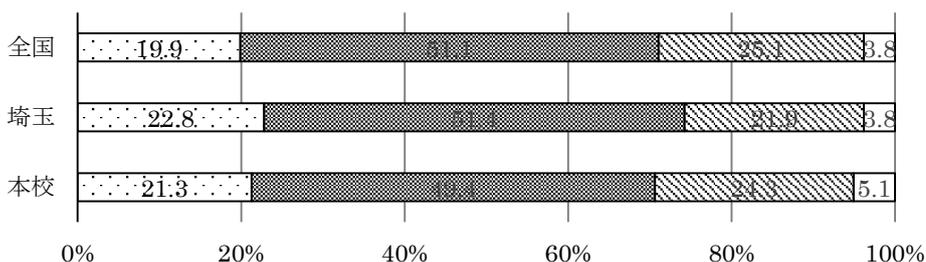
本校では、昨年度まで自尊感情を育むために道徳教育の研究に取り組んできました。

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問では、ほぼ全国平均と同じ結果になりました。

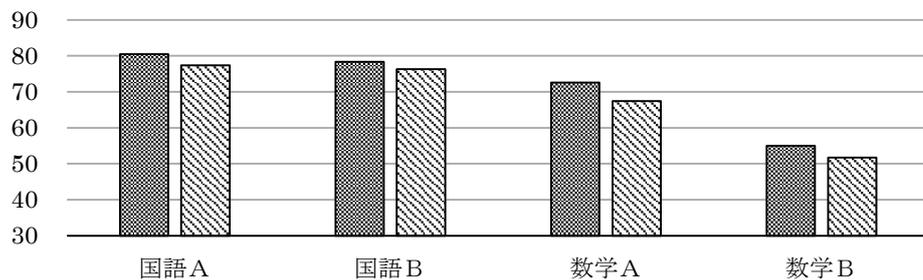
道徳の授業研究を継続し、自尊感情をさらに高めていきたいと思っています。



難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

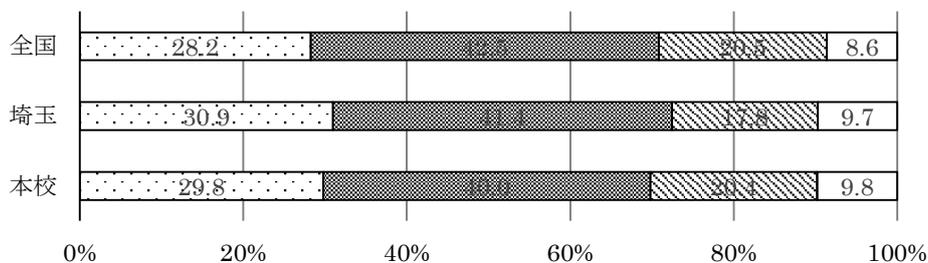


している + どちらかといえば、している
 どちらかといえば、していない + 全くしていない



している + どちらかといえば、している
 どちらかといえば、していない + 全く当てしていない

自分には、よいところがあると思いますか

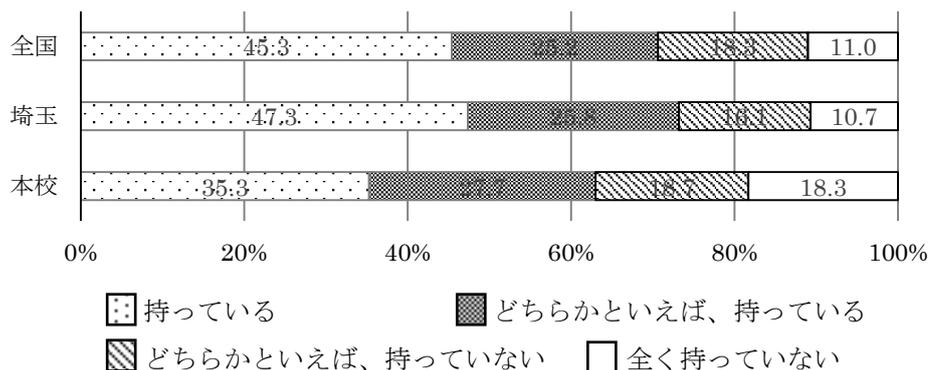


思う + どちらかといえば、思う
 どちらかといえば、おもわない + 全く思わない

将来の夢や目標を持っている生徒は全国や県に比べ、かなり少ない結果となりました。

キャリア教育をさらに充実させ、夢や目標を持った生活ができるようにしていきます。

将来の夢や目標を持っていますか



<テレビ・DVD等の視聴時間>

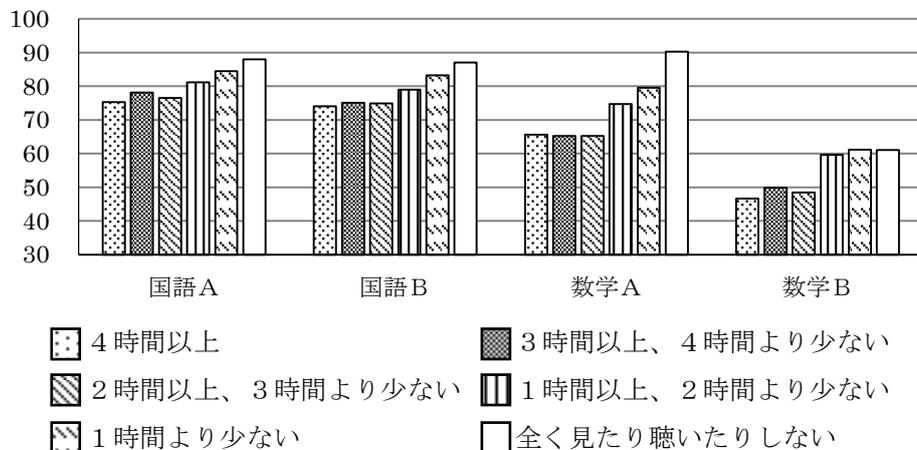
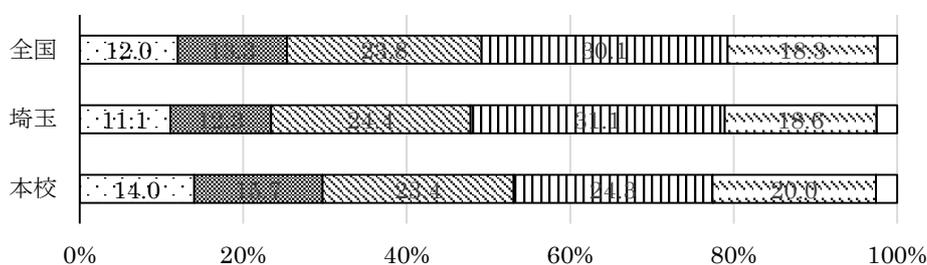
全国平均、県平均に比べ、本校の3年生は3時間以上視聴する生徒が、多くなっています。

ご家庭では、視聴時間の約束を決めてほしいと思います。

当然のことですが、クロス集計の結果から分かるように、視聴時間が2時間以上に比べ、2時間より少ない方が、学力調査の平均正答率が高くなっています。

テレビやDVDの視聴時間はできるだけ少なくしましょう。

1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか

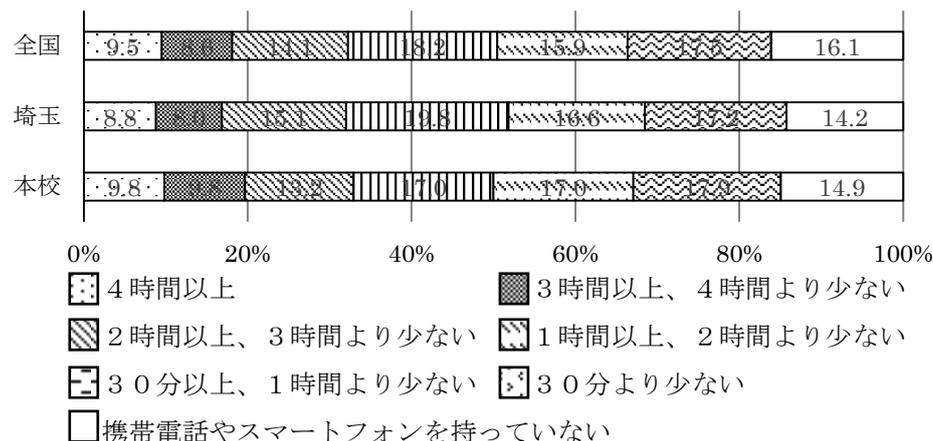


<携帯電話・スマートフォンの使用時間>

本校の3年生の携帯電話やスマートフォンでのメールやインターネットの時間は、ほぼ全国平均、県平均と同じになりました。

携帯電話などの使用時間についても、家庭で約束を決め、しっかり管理していただければと思います。

1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



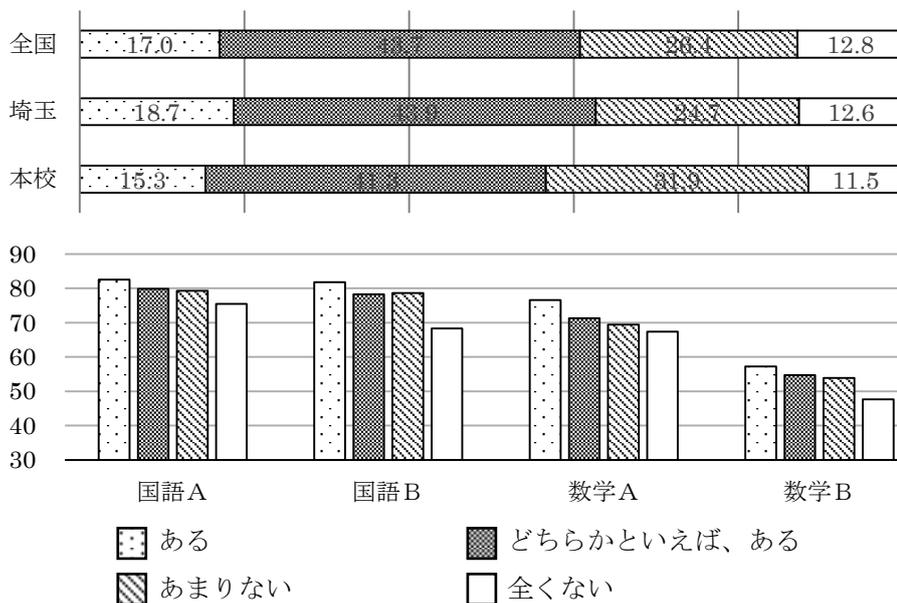
<家庭でのコミュニケーション>

家の人と将来のことについて話をしている3年生の割合は、全国や県と比べてやや低い結果になりました。

夕食時など、家族で将来のことなどの会話ができる雰囲気づくりをお願いします。

学力調査の結果との関係も、会話ができている生徒の方が若干ですが、正答率が高い結果となりました。

家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか



<家庭学習>

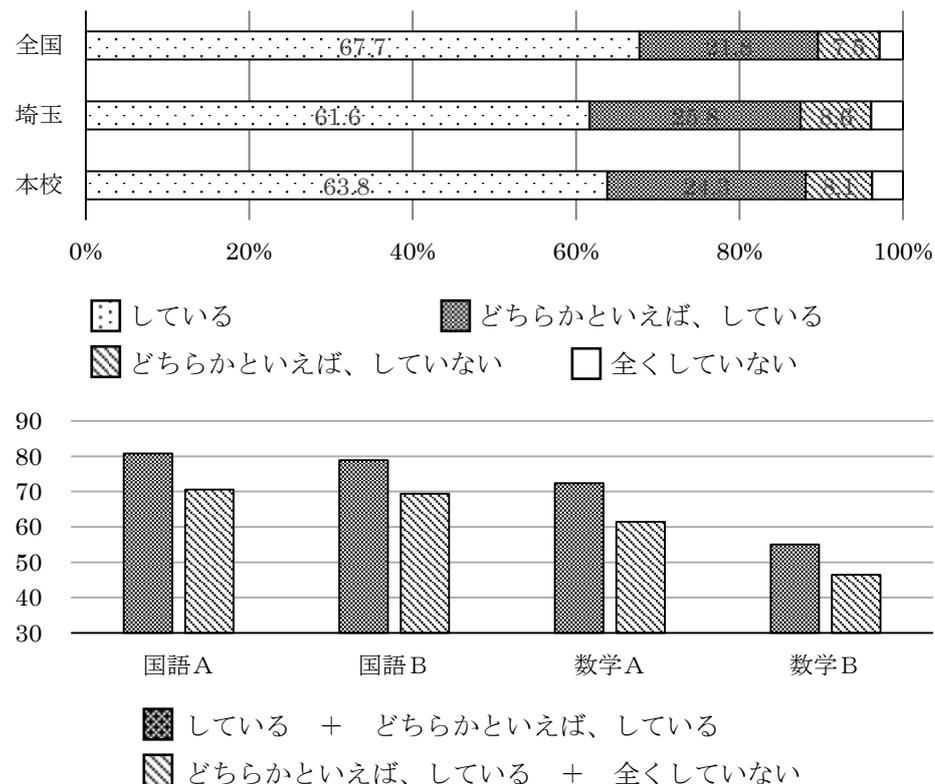
宿題がきちんとできている生徒の割合は、全国平均と比較して、低い結果となりました。

授業の最初などに宿題のチェックなどをきちんと行い、家庭学習がさらに定着できるようにしていきます。

学力調査との関係は、当然のことですが、宿題がきちんとできている生徒の方が正答率が高くなりました。

ご家庭でも宿題をきちんとできるようにご指導ご協力をお願いします。

家で、学校の宿題をしていますか

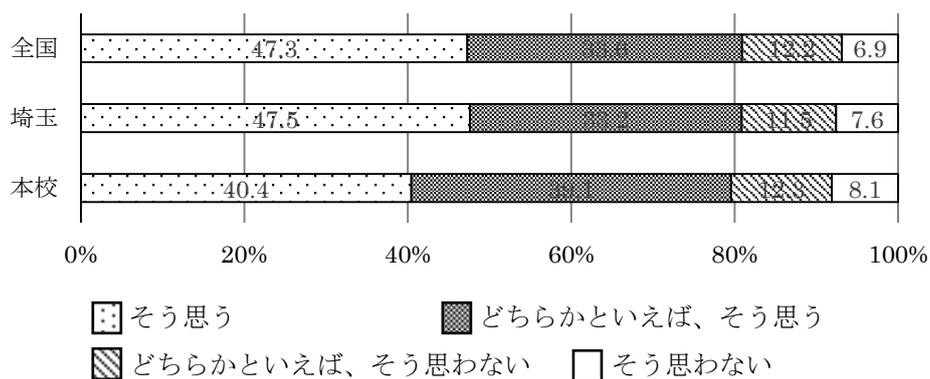


<学校生活>

学校に行くのが楽しいと思っている3年生は、約80%で、全国や県平均とほぼ同じ結果になりました。ただ、「そう思う」の割合が全国、県平均に比べてやや低くなりました。

約20%の「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた生徒が少しでも楽しくなるように工夫していきます。

学校に行くのは楽しいと思いますか

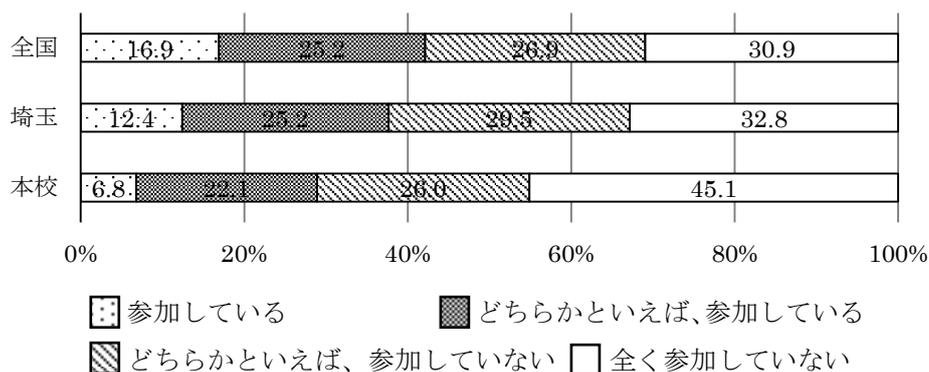


<地域との関わり>

地域の行事への参加については、毎年全国や県平均よりも低い結果となり、本年度も同様の結果となりました。

これからも、地域行事への参加を呼びかけていきますので、家庭や地域でもご協力をお願いします。

今住んでいる地域の行事に参加していますか

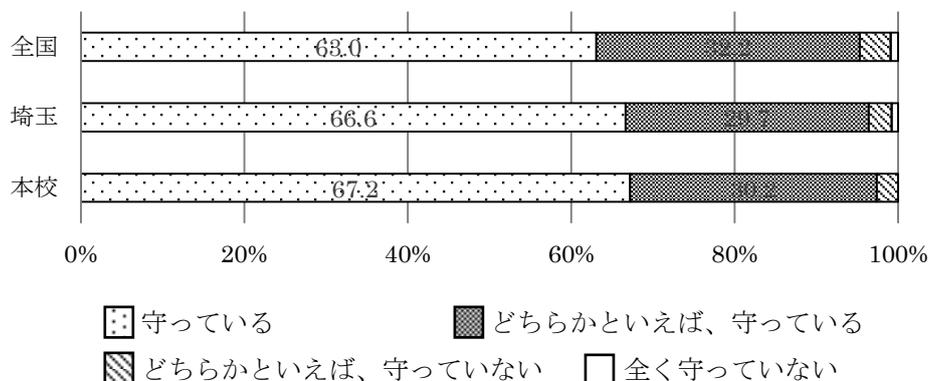


<規範意識>

普段の3年生の行動を見ても、学校の規則を守れない生徒はほとんどいません。

調査結果からも「全く守っていない」生徒は0で、ほぼ全員が学校の規則をしっかり守っていることが分かりました。

学校の規則を守っていますか



いじめに対する意識は全国、県の結果とほぼ同じになりました。若干名の全くそう思わないという生徒をなくすためにも、「いじめは絶対にやってはいけないこと」ということを訴え続けます。

また、いじめアンケートを定期的にい実施、いじめの早期発見と解消に努めてまいります。

<読書と学力の関係>

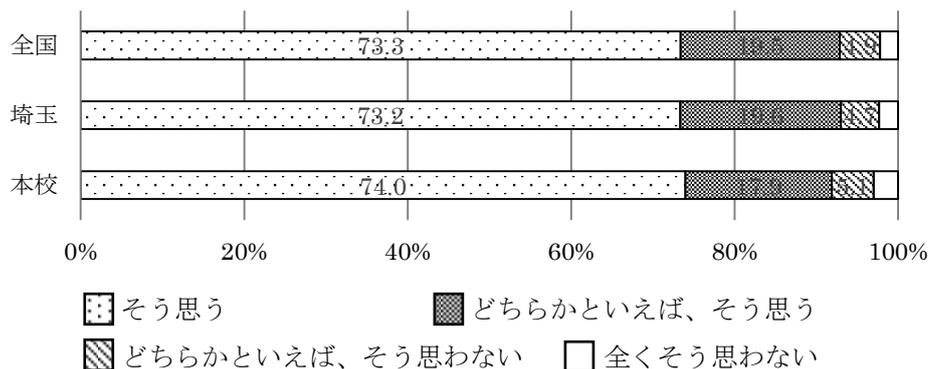
県平均とほぼ同じ結果で、読書好きの生徒が7割以上いることがわかります。

また、読書が好きな生徒は、学力調査の正答率も高くなっています。特に国語Bの結果が顕著に表れています。

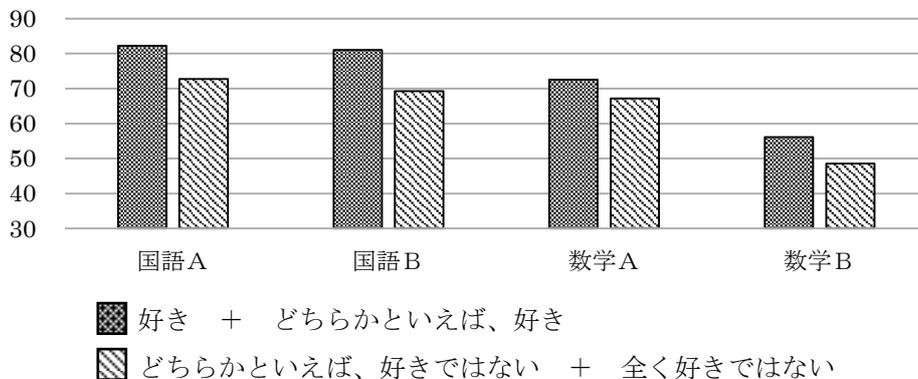
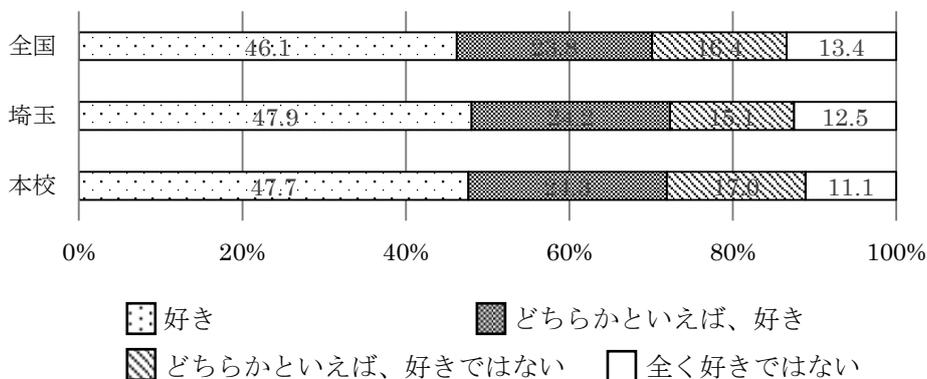
本校では10分間の朝読書を実施しています。これからも読書の楽しさを伝えていきたいと思えます。

読書はすべての教科の基本になるものであると考え、今後も読書指導に取り組んでいきます。

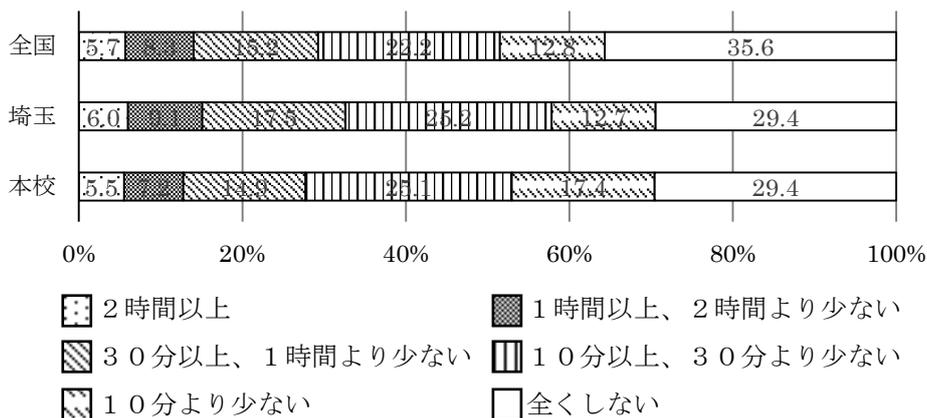
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



読書は好きですか



学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか



<部活動時間と学力の関係>

本校での部活動時間は、全国平均、県平均と比べても短い傾向にあります。

日没の時刻から下校時間を決めていきますので、この調査を実施した時期の下校時刻は午後6時15分です。また、本校では月曜日が部活動の休日となっておりますので、午後練習の最長時間は水曜日の2時間半です。その他の曜日の活動時間は長くても2時間となりますので、「1時間以上、2時間より少ない」と回答する生徒が最も多くなっています。

注目すべきは、活動時間と学力との相関です。最も人数が多い1時間から2時間の生徒の正答率が高い傾向にあります。活動時間が長すぎても短すぎても正答率が高くなっていません。また、部活動に参加していない生徒の正答率も高くないことがわかります。

普段、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしますか

